

真・魅力通信



保幼こ小中一貫コーディネーター：奥村 崇志

第4回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会 その②

～潤いのある学校づくりを目指して 分散会の様子～



前号に引き続き 11月1日(水) 第4回袋井あやぐも学園幼小中一貫教育研修会の様子を紹介します。今回は、分散会の様子についてです。

授業づくり部

〈来年度に向けて〉

- 授業者も主体的に学ぶ空気感が良かった。
- 授業デザインシートの活用を図り、目指す授業づくりを進めていきたい。
- 効果的にICT活用、効果的に「?型課題設定」を進めていくことが必要である。
- 対話のきっかけづくりが大切である。
→ 「必要性」「解決したい思い」をどのように引き出していくのか
- まとめ、振り返りに比重を置いた研修をしたい。
→ 「まとめ」と「振り返り」の定義付けが必要である。



学びづくり部

〈来年度に向けて〉

- 認めたり、ボイスシャワーをかけたりすることはできているので、「しつける」というプロセスを大切にしたい。
- 反応のバリエーションを増やしている。幼小の接続がうまくいくよう更なる工夫が必要である。
- 月に2回くらい漢字テストを行っている。そのテストに合格するように計画的に学習している。頑張ったところにコメントを書いて称揚している。書き取りのお手本を示したり、自主学習の内容の例を示したりしているが内容に差がある。課題は、タブレットを活用して家庭学習を充実させることである。



体づくり部



- 運動会のルールや競技名を子どもたちで決めている。協力性や人間関係を意識した競技設定となるように考えている。
- 1学期に取り入れた動きを行事に生かすことができるようプランを考えている。異学年交流活動等でも発揮できた。
- 令和6年度に向けて「主体性を発揮できるように」仕掛けていく。行事の実行委員等が、主体的に学級、学年、学校を動かしていく。教師は補助的な役割のみ行う。
- 「目指せ聞き方名人、話し方名人」の掲示が分かりやすく、見える化してあって良かった。健康の日の取組とつながっているところがあって良かった。
- 養教のグループがあり、学園の取組を養教の視点から協議できるので今後も続けてほしい。
- 「健康の日」の取組の生徒のワークシートを保健だより等で紹介し、全体によさを発信していきたい。実生活に生かせることばかりではないが、児童生徒の人間関係づくりには役立っている。

〈次号で、残り3つの部の様子を紹介します。〉

※ 袋井あやぐも学園のあゆみは、「ホームページ 学園情報」を御覧ください。

